

## (仮称)佐倉西部自然公園第7回合同会議 会議概要

1. 名称 (仮称)佐倉西部自然公園 第7回合同会議
2. 日時・場所 平成24年3月18日 10:00～ 佐倉市役所6階中会議室
3. 参加者 下志津ふるさと会 12名、畔田里山会 4名  
仮称佐倉西部自然公園支援し隊 1名  
東邦大学医療センター佐倉病院 1名  
公園緑地課 4名、計22名(傍聴2名)

### 4. 内容 1) 参加者の紹介・前回会議(第6回合同会議)の報告

公園：	本日は環境保全課がイベント - 産業まつりのため、欠席となります。( * 前回会議は第6回合同会議 会議概要を参照) また、お配りしたQ & Aは、まず皆さまにご覧いただき、傍聴の方への配布にご異存がなければ、次回の会議でそのようにしたいと考えております。
-----	--

### 2) 2月議会の報告について

公園：	<p>佐倉市議会2月定例会は2月20日から3月19日(月)まで、明日が最終日となります。(仮称)佐倉西部自然公園について主に関係する一般質問の答弁をご報告いたします。</p> <p>(仮称)佐倉西部自然公園の構想 - 基本理念には、「私たちがつくる21世紀の里山自然公園」として6つの目標がございます。都市部に近接する市街化調整区域の貴重な自然を保全するとともに、北総台地の原風景でもある里山環境を活用し、身近に人と自然が共生でき、豊かな自然を次世代に引き継げるような公園を目指して整備してまいります。</p> <p>災害時の活用の検討 - Cゾーンについては、整備基本計画の段階から災害時の避難所として、仮設住宅の設置が可能な多目的広場や備蓄倉庫等が計画されております。この公園が広域避難所としての役割を担えるよう、今後も合同会議の中で検討してまいります。</p> <p>計画の進め方と管理について - 計画予定地の40%以上を民有地が占め、すべての用地を市が取得することは経済的にも大変厳しく、難しい状況ですので、道路の拡幅部分や重要施設部分などを除いて、基本的には、地権者の皆様にご協力をいただき、無償借地で公園として整備をしてみたいと考えております。</p> <p>合同会議では、借地の場合の税金や相続等について、様々な質問をいただいておりますので、今後も引き続き地権者の皆様に、公園計画に対してご理解いただけるように努力してまいります。全体計画を策定している合同会議のメンバーとして、東邦大学医療センター佐倉病院と県立佐倉西高等学校にもご参加いただき、協力しながら、合同会議の中で、緊急施設の設置などについて、関係者のご意見などをお聞きし、研究します。また、下志津・畔田地区の皆さんや市民団体の協力を得て草刈りや清掃協力をしていただいておりますので、今後も、このような活動の充実を図り、市民とともに管理していけるような仕組みづくりの構築に努めてまいります。民間企業のノウハウを取り入れた維持管理手法や、官民合同の維持管理方法などについても、多方面から手法を模索するとしていきます。</p> <p>地域活性化等総合利用について - 農業で培った生活の知恵や習慣を多く方々に伝える場所として、ビジターセンターや体験農場についても計画しており、都市と農村の交流の場としての機能も考えております。来園者と地元住民との交流を図り、地域活性化の一助につながるものと考えております。併せて、農作物の直売所などを設けることができれば、下志津・畔田地区の農作物を販売するなど今後の農業後継者育成にも寄与するものと考えられますので、地域の皆さんの意見を伺い、全体計画の中で検討してまいりたいと思います。</p>
-----	--

### 3) 緊急雇用事業について

公園：	(来年度の緊急雇用創出事業について) 平成23年度までの3年間で終了となる予定でしたが、平成24年度も震災等に関連して緊急雇用対策事業が国の重点分野となり、第三次補正予算が閣議決定されました。佐倉市としては、平成24年度も事業への要望を行うこととし、佐倉市平成24年度当初予算に計上しております。
-----	---

公園 :	(今年度の事業と今後の予定について) 今年度の事業については、3月23日に終了予定 今まで緊急雇用で切り開いた場所の維持管理をメインとして行っています。
Aゾーン	白井作谷津に田んぼ池を2枚(将来的には3枚)掘っています。田んぼ池には菖蒲を徐々に増やし、周囲には山紫陽花を、会の方が植栽して増やしています。 現在ある遊歩道の反対側に、簡易的に遊歩道を整備しました。最終的にはあぜ道を広めにするなどして、回遊できるような形にしていきたいと考えております。 台地の部分は、ふるさと会の皆様のご尽力により、百合の花が植えられています。
ふる :	昨日、皆で百合の球根植え付けをやりました。
公園 :	雨の中ご苦労さまです。今年、新たに植えていただいた部分と、去年の分も上を切って球根を残しましたので、グラウンドゴルフ場をL字に囲む形の百合畑になりますね。
Aゾーン	五反目谷津の斜面北側部分、反対側と同様に法下から3mの範囲で下草刈りを行いました。サシバ等の関係もありますので、支障がないように試しながら、少しずつきれいに。竹林も高齢者クラブの方にお世話になっています。周りの手を入れていない所と比べますと、かなり良い雰囲気には保たれています。
Cゾーン	坊谷津部分を中心に、人が入れない状態の奥の部分を、奥まで入れるようにしました。坊谷津から上にあがる部分への散策路とともに、現在ある散策路の水路を挟んで反対側にも散策路を作りました。雨が降ると足元の悪い状況ですが、歩ける幅を確保しています。水路の形を少し変えました。片側から駆け上がって、子どもたちが水辺で遊べるように。整備したばかりですが、周辺の草が生えるに従い、良い風景が見られるように。池を4箇所設置しました。2月から雨が降るようになり、流れや水もある状態です。先日、アカガエルの卵塊を沢山見つけました。良い環境に近づいているのではないかと思います。 野球場の奥部分 - 竹が繁茂していた場所を里山会さんのご協力により、さらに広げて伐採してきれいにしました。 野球場前の畑に菜の花の種をまきましたが、今年の寒さのせいか、大きくなっていません。花が咲くかどうか、様子を見ていきたいと思ひます。 炭焼きについては、昨年12/9を皮切りに4回ほど行いました。トータルで約500kgの竹墨ができました。試みとして、さくら庭園の松の根元に松くい虫対策として竹墨を敷く予定です。効果があれば、今後の再利用の一つの形として可能性はあるのではないかと。
支援 :	竹墨は製品として500kgですか？
公園 :	窯に800kg入れますと140~150kg程度できまして、おおむね1/5程度の分量になります。補足として、焼くと放射能が高くなると心配というお話をいただき、測定しました。低い数値が出ておりますので、二次利用は問題ないと認識しております。
里山 :	緊急雇用で造園業者さんにどれ位払っていますか？
公園 :	A・C2箇所合計で約3,000万円です。国から100%補助を受けておりまして、あくまで失業者を雇って行う事業として人件費5割以上という条件が付されています。失業者を各5人雇うとして、一般競争入札にかけ、落札業者と委託契約を結んでいます。

#### 4) 来年度の会議について

公園 :	(全体的な流れ) 全体計画が固まった段階で、整備の優先順位、整備施設の規模を話し合っ決定したいと考えます。その後、概算事業費の算出を行うという流れになります。それに伴い、Q&Aの配布を含め、地権者の方々への説明をしていく予定です。 (次回会議でB・Dゾーンの詳細説明を受ける予定)
公園 :	BDゾーンの案は、お手元にお配りしています。次回会議において、環境保全課から支援隊を含め、BDゾーンの説明を受けたいと思ひます。その後、重複する施設などのすり合わせを行い、全体の個別計画を煮詰めていく形に。ACゾーンについては、下志津・畔田の皆さんの話し合いで、イメージ図面ができています。今後は皆様のご協力を得ながら、施設の優先順位をつけ、施設の項目出し、施設の規模を決定していきたいと思ひます。

	(地権者の方への説明)
公園 :	地権者の方々への対応も、並行して進めていきます。里山会さんからのお話により、まず Q & A を配布し、もう一度ご説明してご理解をいただけるように努めたいと考えています。ご心配の事項には、相続税の評価がありますが、市の課税課や成田税務署と協議しています。山林が駐車場になった部分で相続が発生した場合、駐車場ですと課税金額が大きくなります。税務署の回答は、公園となる前の状態で、登記地目で評価を行うとの了解は得ています。エリア全体で一律に事前協議ができれば良いのですが、個別対応とのことでした。また、土地借地契約の固定資産非課税についても、市の課税課の内諾を得ております。
	(Q & A の内容について)
里山 :	相続税は成田税務署と協議されているとのことですが、Q & A に公園地権者の要望によっては代替地も考えられまるとの記載があります。田んぼや山、畑の土地に施設を建てる際に、土地交換を望む方も出てくるかなと。その際、登記簿上の交換と税務上の交換なのかによって、取扱い異なります。公園内の山林であっても、畑や田んぼと交換できるのかどうか、税法上の取扱いや条件はどうなっているのか、Q & A に記載していただければ。
公園 :	その部分についても税務署と打合せします。
	(支援隊の提案について・各ゾーンのイメージ図の調整について)
支援 :	整備施設の規模の確定にあたり、A C ゾーンはふるさと会・里山会のイメージ図を基にというお話でしたが、私どもの提案について、その取扱いと位置付けはどのように。
公園 :	A ゾーンは下志津、C ゾーンは畔田の皆さんが集まり、時間をかけて練り上げたものが前提となっていますので、その案は尊重しなければなりません。B D ゾーンは、支援隊と環境保全課がまとめ、次回会議で説明していただくと。ここで揃った案をあわせ、合同会議で調整を行い、煮詰めていく方向です。各ゾーン4つが揃ってはじめて西部自然公園になりますので、B D ゾーンだけではなく、A C ゾーンも含めてサシバ等が生きる自然里山環境の保護は重要と認識しています。また、区域内には民有地が含まれており、地元のご協力を得なければ、公園も完成しません。完成までには時間はかかるかも知れませんが、少しずつでも部分的に開放し、皆さんが楽しめる場所になればと考えております。
支援 :	B D ゾーンは環境保全課・ワークショップの意見を含めて次回会議で説明があると。A C ゾーンについても、前回会議でお話した私たちの提案が優先順位といえますか、並行して選んでいく形になるのでしょうか。それとも参考意見にとどまるのでしょうか。
公園 :	A C ゾーンのイメージ図は、時間をかけて、ふるさと会・里山会さんに作っていただいたものです。公園緑地課も話し合いに参加していますが、元々の基本計画から逸脱しているとの認識はありません。調整については、各ゾーンが接する部分と、施設が重複する部分で行っていきますが、基本的には地元の意見は大切にしていきたいと考えております。
支援 :	さきほど、A C ゾーンのいまの案 - 駐車場について、ふるさと会の会長さんとお話をしました。例えば、駐車場は奥に必要なのかなど。地元の方々にお世話になることは理解しています。一般市民の立場として、たくさんの市民が来て楽しめるような公園にしたいと、私たちなりに考えています。対立ではなく、皆で意見を出して良い公園にしたいという考え方は一致していると思いますので、今後ともよろしく願いいたします。
公園 :	市民団体として公園を支援したい、( = 支援隊 ) という名称でご参加いただいておりますので、皆さんのご意見も伺っていきたく思います。休憩の間にお茶を飲みながら、お話し合いなど交流できれば宜しいかな、と思います。

## 5) その他

	(予算の確保とAゾーンの整備優先順位について)
ふる :	平成 24 年度は緊急雇用ですが、予算がないと 40 年以上放置していた状態に戻ってしまいます。維持管理はボランティアだけでは、とてもできません。下志津の高齢者クラブのお手伝いで竹林は何とかきれいになっていますが、皆、80 歳を超えています。市の方でもぜひ、平成 25 年度以降の予算要求を頑張ってもらいたいと思います。

	(Aゾーンの整備について)
ふる :	新設道路 - 茶ぶくばあさんの榎の木がある既存道路の拡幅をお願いしたい。 グラウンドゴルフ場を地元で整備していますが、そこに芝生をお願いしたい。 東邦病院から近い所ですので、前回会議で話のありましたAゾーンにヘリポートを。 ヘリポートへは現状では道路がないと中に入れませんので、通じる道路の整備を。 それが地元としての意見です。傍聴に2名の議員さんがお越しですのでお話しますが、市は財政にも強くあたっていただきたいと思ひます。
公園 :	予算要求の前の段階で枠取りを行います、その前提として計画に基づく位置付けをする必要があります。その計画は、市が一方向的に決めるのではなく、皆さんとお話しをして、調整を行ったうえで、策定すべきと考えております。ご理解いただければ、と思ひます。 (防災拠点としての役割 - ヘリポートと進入路について)
病院 :	今の続きですが、佐倉病院は県の地域防災拠点病院に手を挙げています。大震災もあり、若干考え方に対する整理が県でも行われているところですが、大きなポイントは災害時のヘリポートです。現段階では災害時に西高さんの校庭を使わせていただくということで、県の了承を得ています。実際の大規模災害を考えますと、公園ですので常設ではなくとも、いざという時にヘリを下ろせる、全面処置ができる広いフラットなエリア、資材を動かせる進入路を病院の近くに検討いただければ。
里山 :	Cゾーンでもイメージ図の中に、緊急用ヘリポートを計画しています。
病院 :	災害時に道路が寸断される場合もあり、しっかりしたアクセス道路があれば良いのですが。
公園 :	Aゾーンのグラウンドゴルフ場は病院に近接した平場の広いエリアです。ふるさと会さんからお話がありました進入路ができれば適地ですね。Cゾーンも台地に防災拠点を計画しています。仮設住宅用地などの位置付けも考えられますね。アクセス道の系統数も検討したいと思ひますので、県の方から情報があれば、お知らせいただきたいと思ひます。 (公園区域内の植物など、PRできる部分について)
支援 :	よく散策していますので、いい植物のある所を御紹介したいと思ひます。地元の方に自慢できる所を知っていただければ。Cゾーン薬師堂近く - 公園区域からは外れますが、アマガという百合の仲間 - チューリップの原種が自生しています。五反目谷津には、エビネ、熊谷草、一輪草など。草刈りなどに留意して管理していけば、とても良いかと思ひます。成田空港の近くですので、外国の方も自慢できるように。日本の自然 - 特に野生の植生を見たいという方もいます。
公園 :	支援隊を通じて里山会・ふるさと会さんや地域の方々にも知っていただけると良いですね。 (区域に隣接する施設について)
里山 :	公園区域ではありませんが、畔田～下志津に抜ける道の解体屋さん前によく車が駐まっております、左側の土手ををかじりながら通っている車もあります。また、降雨後に解体した油の水が川へ流れています。対策をお願いすれば市役所でやってもらえるのでしょうか。
公園 :	道路管理課や廃棄物対策課にも何回かお願いしている状況もありますので、よく注意してパトロールをお願いしたいと思ひます。何回か畔田の方にはお話いただいていますので。
里山 :	毎日通りますが、全く改善されていません。役所はどうして言わないのかなと。また、U字溝が機能しておらず、長らく埋まったままです。直して蓋をしてもらいたいと思ひます。
公園 :	道路管理課に再度話をします。併せて、地元から要望を出されると話も早いと思ひます。
里山 :	油が下に流れ、田んぼや手繰川に入ってしまうのは問題ですので、よく見ていただければ。
公園 :	再度、関係部署に、よく見るように公園緑地課から伝えたいと思ひます。

## 6) 次回会議について

田植え・GW明けの5月中旬のイメージで、調整のうえ、日程は後日お知らせします。

以上